

第7回小田原市市民活動推進委員会 会議録

- 1 日時：令和4年5月23日（月）午後1時30分～午後3時30分
- 2 場所：おだわら市民交流センターUMECO 会議室5・6
- 3 出席者：前田委員長、林田副委員長、渡邊委員、林委員、山崎委員、川口委員、島田委員、菊地委員

関係者：UMECO指定管理者 安藤センター長、興津副センター長、椎野氏、桂氏
（議題（1）～（3））

事務局：岩田課長、八田副課長、岡崎主査

4 資料：

- ・次第
- ・資料1 提案型協働事業・市民活動応援補助金交付事業報告会実施要領（案）
- ・資料2-1 協働事業のガイドライン更新に係るポイントの整理（市民活動団体と行政の連携）
- ・資料2-2 小田原市市民活動応援補助金交付事業等に関する調査結果
- ・資料3-1 令和3年度おだわら市民交流センター会議室等の利用状況
- ・資料3-2 令和3年度市民活動団体登録状況内訳
- ・資料3-3 おだわら市民交流センターへのご意見・ご要望（令和3年度10月～3月分）
- ・資料3-4 2021年度事業一覧と実施時期
- ・資料3-5 令和3年度おだわら市民交流センターUMECO実施事業報告
- ・資料3-6 おだわら市民交流センター指定管理者自己評価表（令和3年度分）
- ・資料4 令和3年度おだわら市民交流センター第三者評価シート

5 会議内容

■ 開会

■ 議題（1）提案型協働事業・市民活動応援補助金交付事業報告会について

委員長：それでは、議題（1）提案型協働事業・市民活動応援補助金交付事業報告会に入る。本委員会は、議事に関係のある方に出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。本議題に関し、おだわら市民交流センターの指定管理者にお越しいただいている。それでは、事務局からご説明をお願いしたい。

（事務局 資料1に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

各委員の担当する事業や当日の具体的な集合時間については、事前にご連絡いただきたい。

事務局：事前にお伝えする。

委員長：交流シートはどのような書式か。当日でも良いので、各委員にお配りいただきたい。

事務局：コロナ禍で縮小せざるを得なかった交流の要素を補完するための書式で、参加者から発表者への質問や、連携希望を記載できるようになっている。後日、記載内容に基づき、事務局とUMECOでコーディネート等の対応を行う。書式は、当日皆様に配布する。

■ 議題（2）諮問事項「市民活動団体の多様な主体との連携の促進について」

委員長：それでは、議題（2）諮問事項「市民活動団体の多様な主体との連携の促進について」、①協働事業のガイドライン更新に係るポイントの整理について、事務局からご説明をお願いしたい。

（事務局 資料2-1に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

一般には分かりにくい語句、例えば「資源」などは、今後文章化していく際に、できるだけ平易な表現とすべきであろう。

3ページ目の囲み内に「調整が成功した事例」とあるが、成功事例を具体的に掲載するということか。

事務局：この囲みについては、変更箇所として挙げるに至った経緯を参考として記載している。事例紹介において、それぞれの取組の良い点は記載したいと考えている。

- 委員長：現在、協働の事例はホームページに掲載しているのか。
- 事務局：応募の手引きなどで、簡単に紹介している程度である。
- 委員長：提案型協働事業は1事業につき3年間利用できる制度であり、期間終了後の市民活動団体と行政の関わり方は、双方にとって関心が高いと考えられる。現時点ではどのような関わり方があるのか。
- 事務局：広報面で市が市民活動団体の事業に協力していることが多いが、落書き消しの活動では、市が購入した溶剤を提供している事例もある。
- 委員長：本資料は「市民活動団体と行政の連携」について記載しているが、最終的に他主体も含めたガイドラインとして文章化する際には、各項目を整理しなおすのか。
- 事務局：そのとおりで、各主体の連携のポイントを整理した後、最終的なガイドラインに落とし込む際には改めて内容を精査する想定である。例えば、どの主体間の連携においても「UMECOに相談すればパートナーが見つかる」ということになれば、連携相手の探し方の記載は簡略化できる。
- 委員長：ガイドラインの見直しに際し、想定しているのは「市民活動団体と事業者」「市民活動団体と地域」のように、市民活動団体が関係する連携であることは承知しているが、今後「事業者と地域」のように、市民活動団体以外の連携について言及する考えはあるか。
- 事務局：市民活動を促進し、地域の課題を解決するというスタンスでガイドラインを更新する想定である。今後の検討次第では、ガイドライン本文は主体を限定しない協働全般について記載した上で、市民活動団体に特化したコラム等を追加する、という方向性もあるかもしれない。
- 委員長：「市民活動団体と地域と行政」のように三者以上が関わるケースもあり、様々な組み合わせを想定する必要があるだろう。
- 委員：ガイドラインには、市民に協働を呼びかけるという役割もあると思われる。特に行政との協働では、市民視点でハードルが大変高いと考えられるので、それを下げるためにも、対等なパートナーであることを前面に出すのではなく、まちづくりのパートナーであることを伝えられると良い。協働するとこんなに良いことがあるので、ぜひ一緒に取り組みましょう、という切り口である。各情報も事実を列挙するより、困難を乗り越えた事例を前向きに記載する等、工夫できると良い。
- 事務局：市民による積極的な提案を期待しているので、ご意見のとおりハードルを下げられるように、受け手を意識してまいりたい。また、ガイドラインとして定めるものと、概要版などのPR用の媒体で見せ方を変えるという方法もあると考えている。PR用の媒体は見せ方、伝え方を特に重視しなければいけないので、今後もご意見をいただきたい。
- 委員：Q&A等も有効かもしれない。
- 委員長：併せて、もう少し検討が進んだら、試作版に関わりのある方に見ていただき、ご意見をいただくと良いだろう。
- 委員：市民にとっての協働のメリットとして、「市民活動を知る機会が増え、市民活動に参加する動機が得られる。」ということが挙がっているが、一般市民だけでなく行政職員にも言えることである。行政職員が市民活動団体のことを知れば、市民活動への参加、協働への発展など期待できるのではないか。
- 事務局：本資料での記載は一般市民向けのニュアンスであるが、行政職員への波及も期待できるので、意識してまいりたい。
- 委員：先ほど話のあった落書き消し活動について、平塚市でも同様の活動がある、そちらでは、溶剤の処理等のより専門的なノウハウが求められる作業に、事業者が協力している。市民活動団体と行政の協働に事業者も関わっている事例はほかにもあるのではないか。
- 委員長：その事例における事業者は、CSRに力を入れているのか。
- 委員：落書き防止の壁画を描くための塗料を提供したり、その塗料を使う際に専門知識を有する従業員が参加し、協力が続く中でその事業者がコアになっていったということである。
- 委員長：小田原市でもそういった広がり期待できるだろう。
- 委員：平塚市では地域猫に関する連携事例もある。小田原市でも市民活動団体からの提案が行政の施策につながった事例もあるかもしれない、協働事業のその後の状況を掲載できれば、団

体の参考になると考えられる。

委員 長：引き続き②補助金制度等による協働の推進について、事務局からご説明をお願いしたい。
(事務局 資料 2-2 に基づいて説明)

委員 長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

Q6の協力の相手に「子育ての輪 L e i」とあるが、市内の団体か。

事務局：県西地区で活動しているNPO法人で、法人の所在地としては市外である。

委員 長：ほかにも「厚木市観光協会」といった記載もあり、広範囲に連携している状況が見受けられる。

委員：市民活動団体の状況等がよくまとまっていると思う。UMECOにおいて、取組に活用できそうなところはあるか。

指定管理者：団体同士のつながりが目に見えてこない、ということは日頃から感じている。連携の状況を一覧にするなど、事例として紹介できるようにできればと考えている。

■ 議題（3）おだわら市民交流センターUMECO令和3年度事業報告について

委員 長：それでは、議題（3）おだわら市民交流センターUMECO令和3年度事業報告について指定管理者からご説明をお願いしたい。

(指定管理者 資料 3-1～3-6 に基づいて説明)

委員 長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

クラウドファンディングに特化した講座を実施したことはあるか。需要があれば、実施できると良い。

指定管理者：今のところ実施していないが、検討したい。

委員 長：ホームページの閲覧数について、この1年間で3倍以上になっている要因は何か。

指定管理者：UMECO祭りで動画配信を行ったこと等の影響と考えられる。

委員：地域とのネットワーク事業について、Hello!UMECOが大変見やすくなったと思う。地域コミュニティ組織の主要メンバーに配っていただいたが、周知に役立つため、他地域でも進めていただきたい。

指定管理者：他地域でも順次配布している。今後も冊子を活用してまいりたい。

■ 議題（4）おだわら市民交流センターUMECO第三者評価について

委員 長：それでは、議題（4）おだわら市民交流センターUMECO第三者評価について、事務局からご説明をお願いしたい。

(事務局 資料 4 に基づいて説明)

委員 長：ただいまの説明で何か質問はあるか。

評価シートの1ページ目で、6つの機能とは別に「男女共同参画」と「国際交流」の項目がある理由を確認したい。

事務局：UMECOは、小田原駅周辺に点在していた市民活動サポートセンター、女性プラザ、国際交流ラウンジの3つの市民利用施設を集約するとともに、市民会館本館の会議室機能を配置し開設した。この経緯から、「男女共同参画」と「国際交流」については他分野以上に重視することとなっており、評価シート上でも個別の評価項目として位置付けている。

委員：各事業に数値目標が設定されているが、これを達成している場合に付ける点数の目安等はあるのか。

事務局：指標の達成率については、例年は主に「機能の達成状況」を評価する要素の一つとしていただいている。目安は設けていないが、そもそも数値目標が適切かどうかを考慮した上で、点数等を判断していただきたい。コロナ以前からの実績についても併記されており、参考にさせていただきたい。

委員：全ての項目を埋める必要があるのか。

委員 長：それぞれのお立場での評価ということで、記入をお願いしたい。

委員：「国際交流」について、評価の参考になりそうな事業が見当たらないが、どのように考えれば良いか。

事務局：「国際交流」と完全に対応する事業は実施していないので、例えばUMECO企画展の中

で「国際交流」をテーマとする展示があることや、報告書類にはないが活動エリアを日本語教室の登録団体に貸し出していること等を踏まえご評価いただきたい。

委員長：補足説明がないと評価が難しいため、来年以降、報告書類上でも「男女共同参画」と「国際交流」に係る事業が分かるように工夫していただきたい。

コロナという特殊事情に関しては、数値目標を達成しているかどうかだけで評価できない部分もあり、まずは各委員のご判断としたい。

委員：今後ニーズが増えると予想される事業の検討を促すなど、幅広く意見を付して良いのか。

事務局：ぜひお願いしたい。

委員長：評価結果はUMECOに提供し、今後の改善に役立てていただくことになっているので、積極的にご提案いただきたい。

評価点については、どのようにまとめるのか確認したい。

事務局：6つの機能、「男女共同参画」と「国際交流」、3つのコンセプトのそれぞれで、各委員の評価点の平均値を小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位までの表記としてまとめる。

委員長：それでは、本日の質疑を踏まえ、各委員において評価を行い、様式に記入の上、事務局に提出していただくこととする。

■ その他

委員長：その他について、事務局からお願いします。

(事務局 今後の会議日程の確認等)

※今後の会議日程等は次のとおりとする。

第8回委員会（事業報告会）・・・7月 3日（日）午後1時～ UMECO

第9回委員会・・・7月26日（火）午後1時30分～ UMECO

■ 閉会